

## . 調査の概要

### 1. 調査対象期間

平成20年1月～3月の3ヶ月間

### 2. 調査施設数

従業者数10人以上のホテル、旅館及び簡易宿所10,171施設

	10～29人	30～99人	100人～	計
施設数	5,633	3,460	1,078	10,171

### 3. 回収率

71.7%

# . 前年同期との比較分析

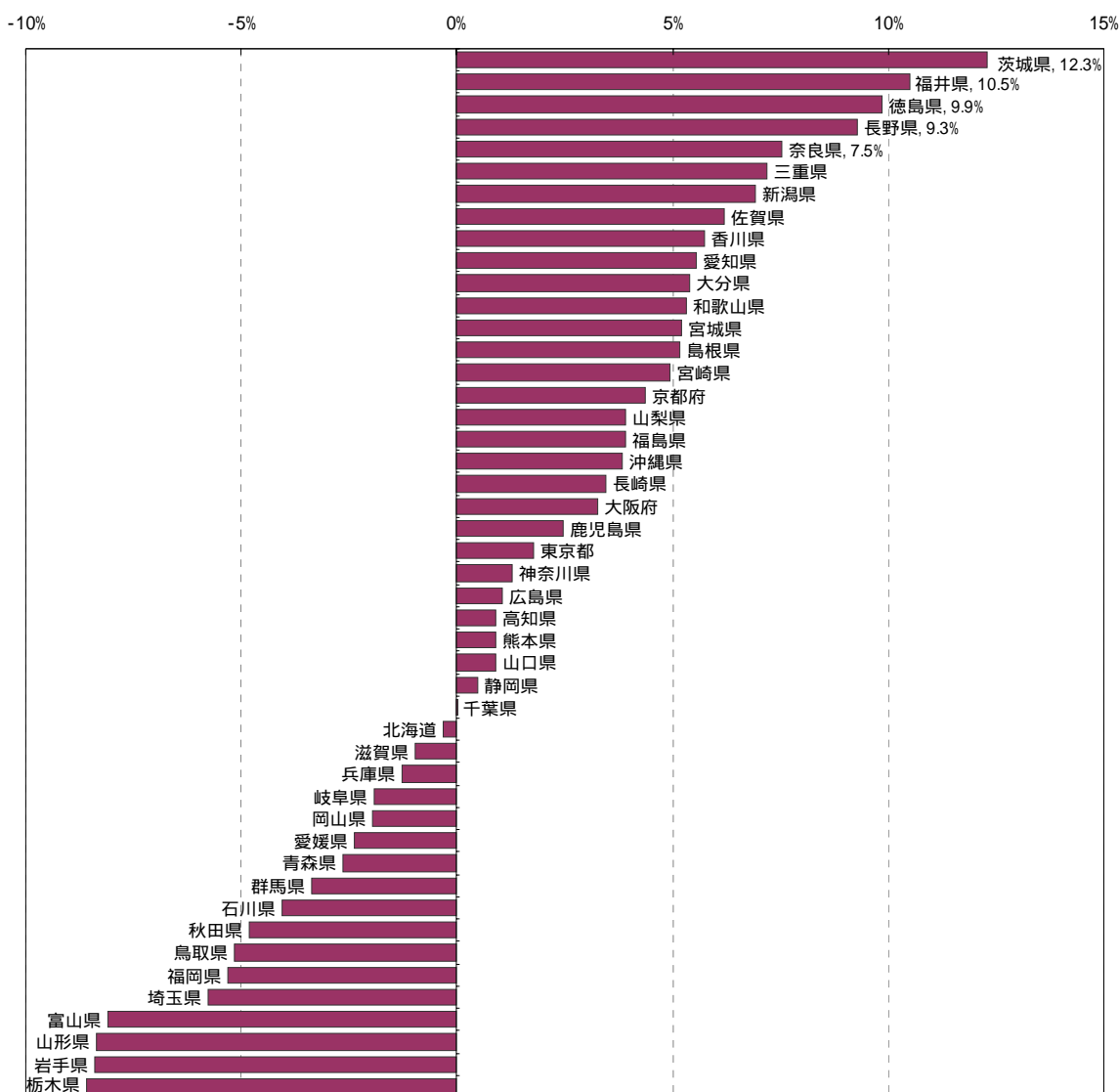
## 1. 延べ宿泊者数

延べ宿泊者数は、前年同期比1.4%の微増

都道府県別に比較すると、増加率上位5県は、茨城県(前年同期比12.3%増)、福井県(同10.5%増)、徳島県(同9.9%増)、長野県(同9.3%増)、奈良県(同7.5%増)

増加した要因としては、TV放映ドラマ等の効果、昨年の記録的な暖冬少雪と比べて早期の降雪によるスキー客増などによると考えられる

都道府県別延べ宿泊者増減率順位(前年同期比)



## 2. 外国人延べ宿泊者数

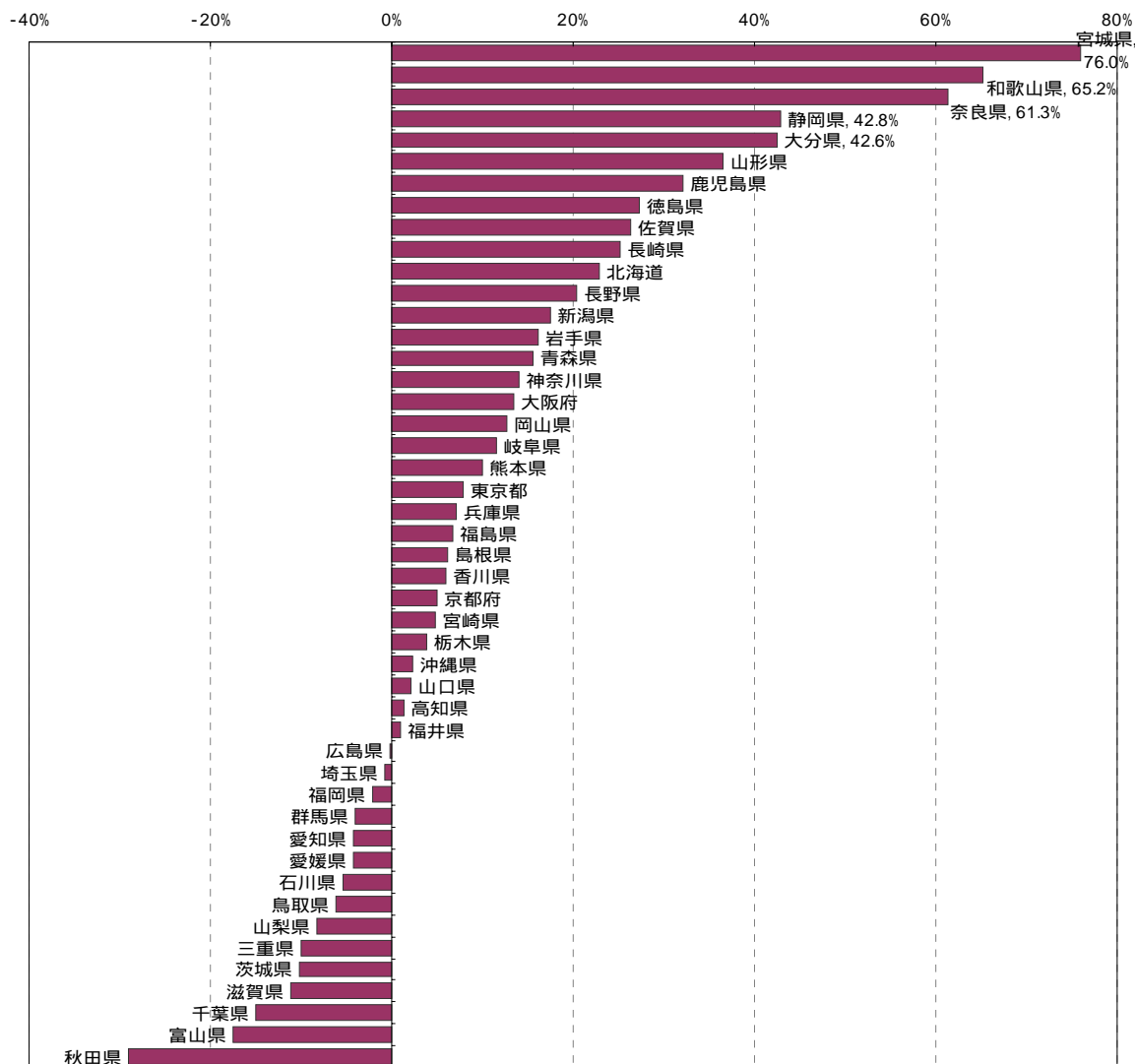
### (1) 都道府県別外国人延べ宿泊者数

外国人延べ宿泊者数は、前年同期比8.8%の増

都道府県別に比較すると、増加率上位5県は、宮城県(前年同期比76.0%増)、和歌山県(同65.2%増)、奈良県(同61.3%増)、静岡県(同42.8%増)、大分県(同42.6%増)

増加の一因として、仙台-香港便の就航(平成19年10月～平成20年3月)が4年ぶりに再開したことなどが考えられる

都道府県別外国人延べ宿泊者増減率順位(前年同期比)

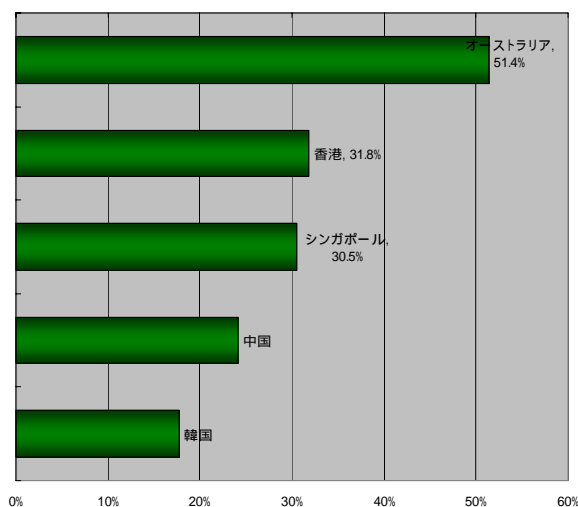


## (2) 国籍(出身地)別比較

国籍(出身地)別外国人宿泊者数の前年同期比の増加率上位は、第1位がオーストラリア、第2位が香港、第3位がシンガポール

前年同期との国籍別(出身地)外国人の宿泊者の増加率では、オーストラリアが関東で40%の増加、近畿で36%の増加、また、香港が東北で56%、中部33%、九州61%、沖縄92%と大幅に増加

### 国籍(出身地)別外国人延べ宿泊者増減率順位



### 地域別、国籍(出身地)別外国人宿泊者数増加率(前年同期比)順位 (上位5国籍(出身地))

北海道運輸局	シンガポール 55% (15,100)	タイ 50% (1,810)	中国 31% (9,270)	カナダ 28% (450)	韓国 26% (21,790)
東北運輸局	香港 56% (15,940)	中国 33% (2,630)	タイ 31% (470)	ドイツ 27% (450)	オーストラリア 17% (130)
関東運輸局	オーストラリア 40% (44,860)	カナダ 22% (9,660)	香港 15% (31,040)	シンガポール 14% (7,790)	韓国 14% (52,330)
北陸信越運輸局	ドイツ 52% (1,060)	オーストラリア 44% (7,130)	カナダ 32% (320)	イギリス 18% (300)	中国 13% (1,150)
中部運輸局	香港 33% (5,610)	オーストラリア 29% (1,680)	中国 28% (19,340)	シンガポール 25% (1,330)	ドイツ 10% (740)
近畿運輸局	オーストラリア 36% (9,790)	中国 32% (42,720)	香港 22% (17,700)	ドイツ 22% (3,610)	韓国 17% (36,760)
中国運輸局	シンガポール 42% (200)	香港 40% (390)	オーストラリア 34% (1,190)	中国 28% (2,770)	フランス 28% (430)
四国運輸局	タイ 60% (60)	オーストラリア 56% (220)	カナダ 56% (140)	シンガポール 55% (120)	香港 35% (230)
九州運輸局	香港 61% (18,690)	タイ 33% (2,900)	中国 33% (6,480)	イギリス 29% (700)	カナダ 16% (280)
沖縄総合事務局	香港 92% (4,360)	フランス 88% (360)	中国 77% (2,600)	シンガポール 67% (40)	ドイツ 67% (200)

( )内数字は、国籍(出身地)別宿泊者数の対前年同期増加数  
長野県は北陸信越運輸局、福井県は中部運輸局に含まれる。

# 第1四半期(平成20年1月～3月)の調査結果の概要

## 1. 延べ宿泊者に関する結果

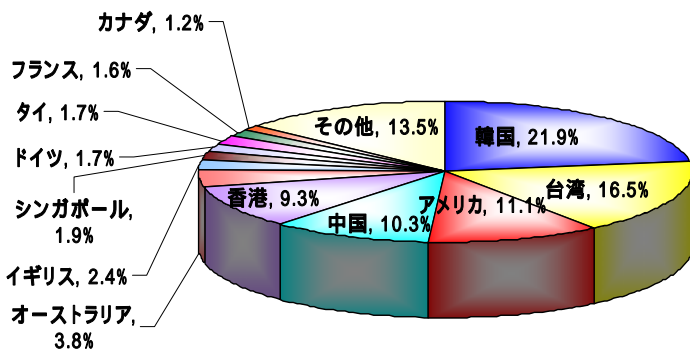
### (1) 延べ宿泊者数

延べ宿泊者数は7,351万人泊で、うち外国人は542万人泊(宿泊者全体に占める割合は7.4%)

### (2) 国籍別外国人宿泊者数

国籍(出身地)別外国人延べ宿泊者数は第1位が韓国、第2位が台湾、第3位がアメリカで、上位3カ国(地域)で全体の5割弱  
次いで、中国、香港の順で、これら5カ国・地域の全体のシェアは6割超

国籍別外国人延べ宿泊者数(第1四半期分)



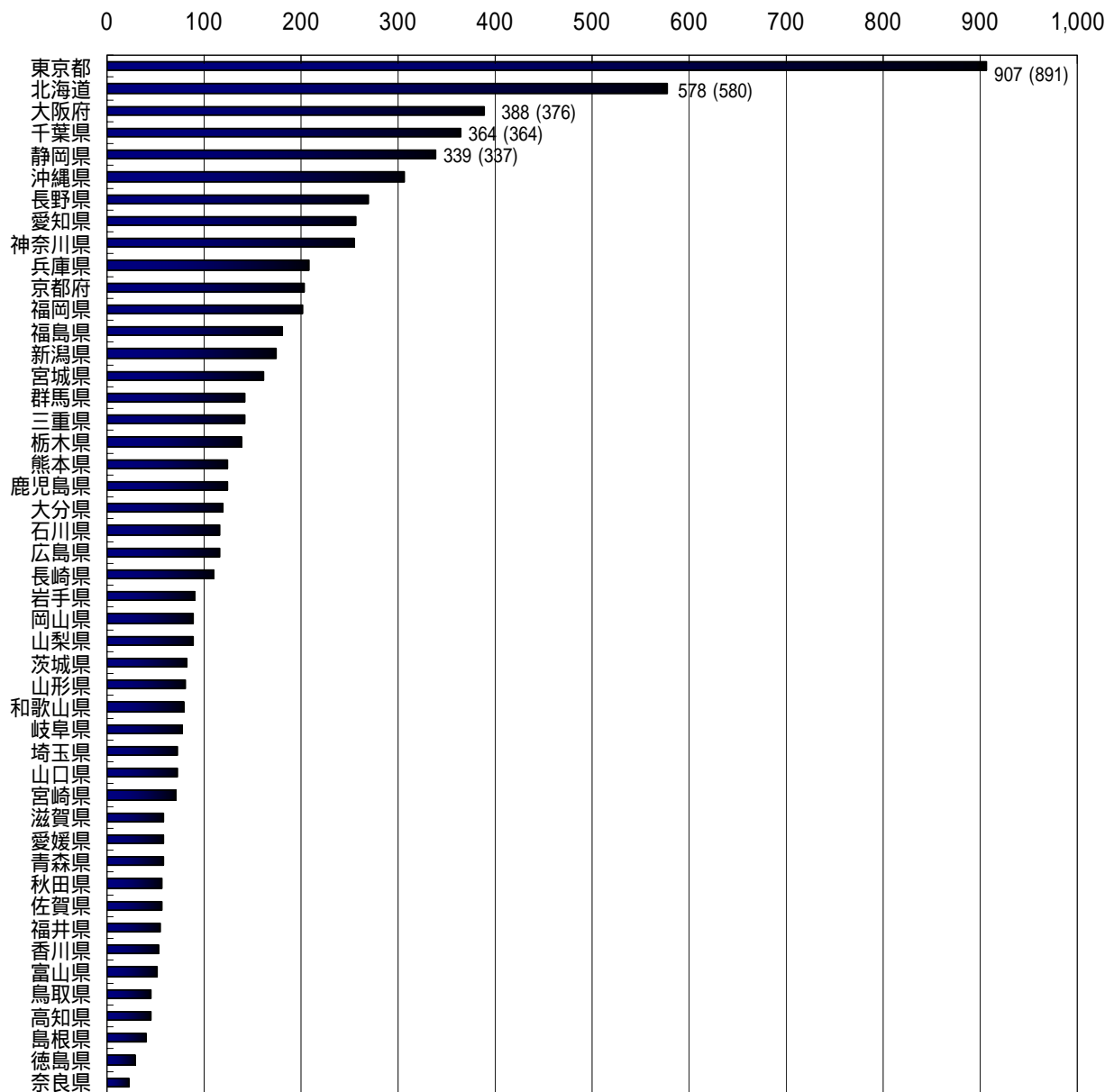
順位	国籍(出身地)	合計		前年同期比
		万人泊	シェア	
第1位	韓国	119	21.9%	17.7%
第2位	台湾	89	16.5%	-0.6%
第3位	アメリカ	60	11.1%	-9.0%
第4位	中国	56	10.3%	24.1%
第5位	香港	50	9.3%	31.8%
第6位	オーストラリア	21	3.8%	51.4%
第7位	イギリス	13	2.4%	8.8%
第8位	シンガポール	11	1.9%	30.5%
第9位	ドイツ	9	1.7%	1.6%
第10位	タイ	9	1.7%	-14.1%
第11位	フランス	9	1.6%	0.5%
第12位	カナダ	6	1.2%	14.0%
	その他	73	13.5%	0.0%
	合計	542	100.0%	

### (3) 都道府県別延べ宿泊者数

都道府県別延べ宿泊者数は、東京都が最多、第2位が北海道、第3位が大阪府、第4位が千葉県、第5位が静岡県であり、上位5都道府県の全国でのシェアは3割超

都道府県別延べ宿泊者数(第1四半期分)

(万人泊)

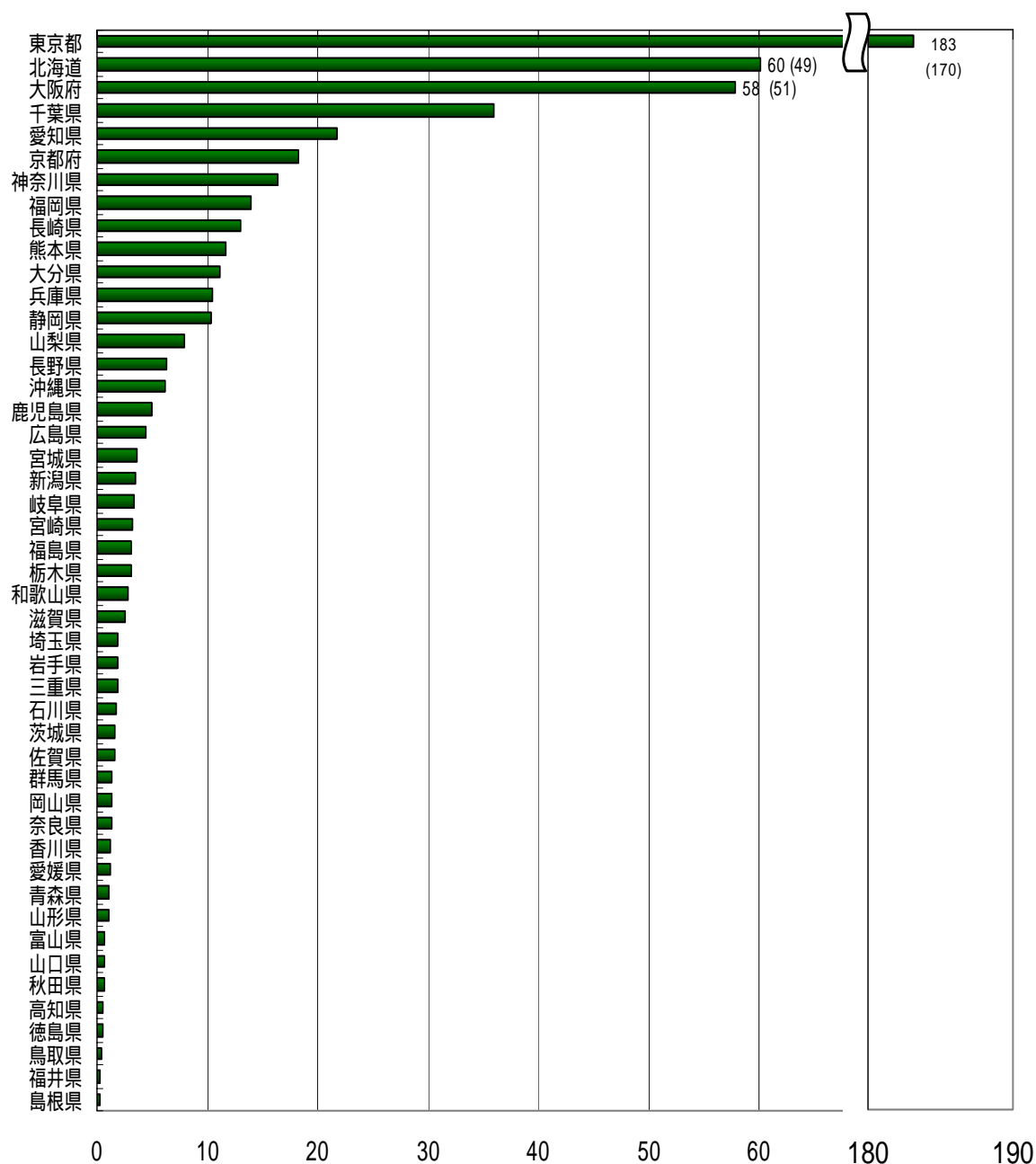


( )内数字は、前年同期

## (4) 都道府県別外国人延べ宿泊者数

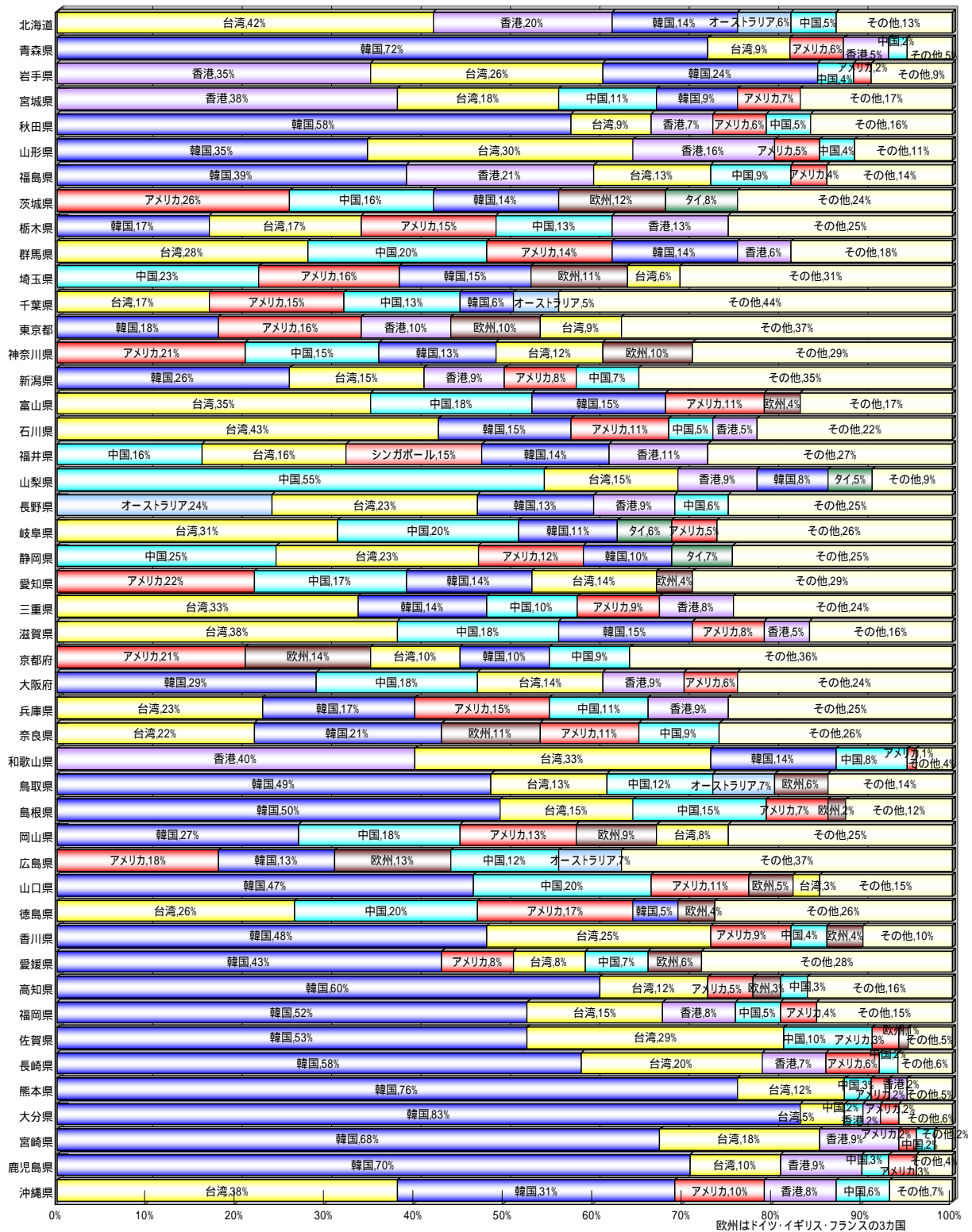
都道府県別外国人延べ宿泊者数は、東京都が最多、第2位が北海道、第3位が大阪府であり、上位3都道府県の全国でのシェアは5割超

都道府県別外国人延べ宿泊者数(第1四半期分) (万人泊)



( )内数字は、前年同期

## 都道府県別、国籍(出身地)別外国人延べ宿泊者数構成比



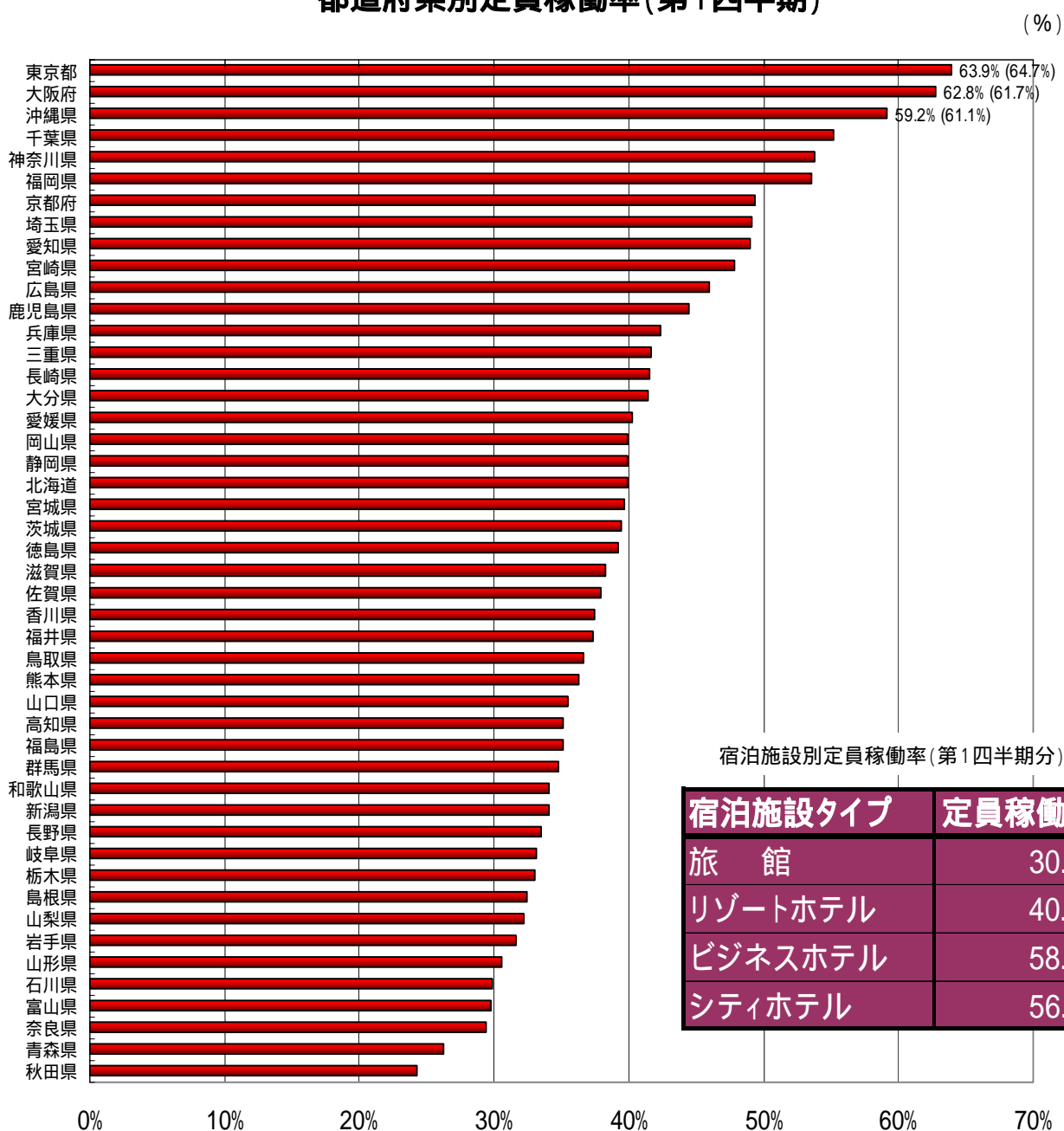


## (5) 都道府県別定員稼働率

都道府県別の施設の定員稼働率は、東京都が最も高く、第2位が大  
阪府、第3位が沖縄県

施設タイプ別で見ると、ビジネスホテル、シティホテルの定員稼働率が  
高い

都道府県別定員稼働率(第1四半期)



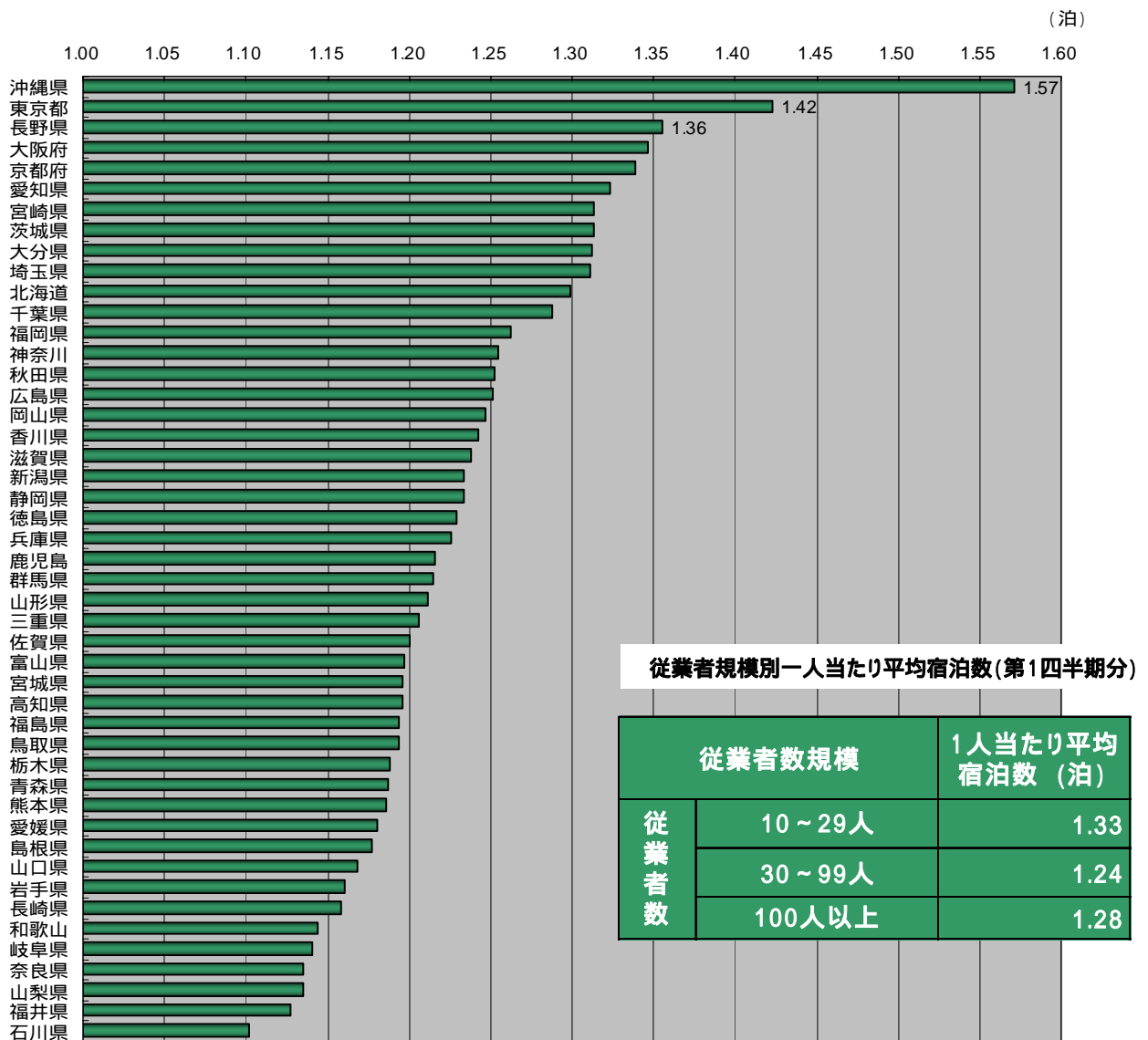
( )内数字は、前年同期

## 2. 一人当たり平均宿泊数に関する結果

### (1) 都道府県別一人当たり平均宿泊数

一人当たり平均宿泊数(延べ宿泊者数÷実宿泊者数)は、1.28泊で、都道府県別に見ると沖縄県1.57泊、東京都1.42泊、長野県1.36泊  
 従業者数規模別では、従業者数10人～29人の施設が1.33泊とやや長め

都道府県別一人当たり平均宿泊数(第1四半期分)

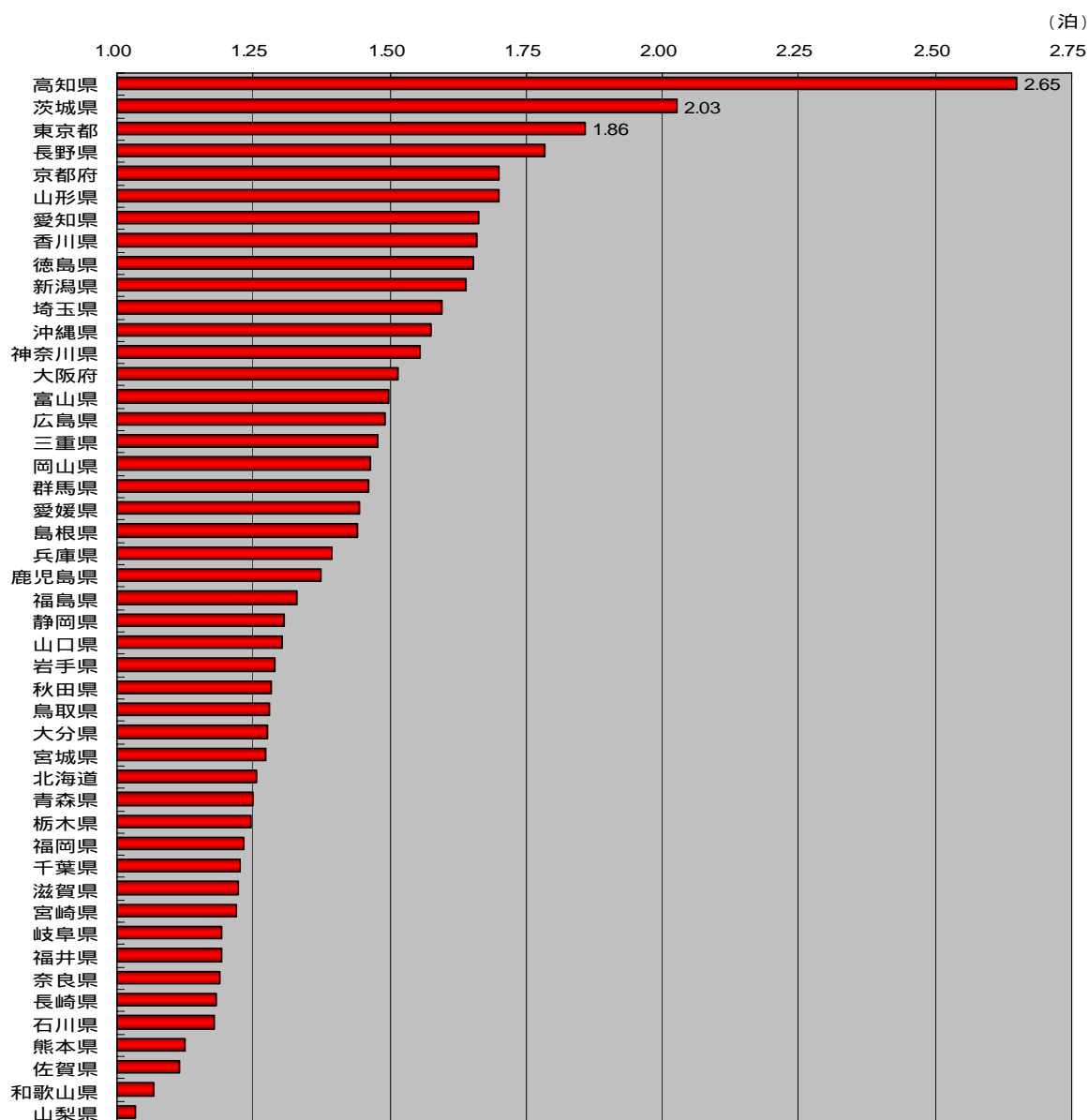


## (2) 都道府県別外国人一人当たり平均宿泊数

外国人一人当たりの平均宿泊数(外国人延べ宿泊者数÷外国人実宿泊者数)は1.49泊で、都道府県別に見ると高知県2.65泊、茨城県2.03泊、東京都1.86泊

高知県は、韓国のプロ野球チームがキャンプを行ったことにより、平均宿泊数が伸びていると考えられる

都道府県別外国人一人当たり平均宿泊数(第1四半期分)

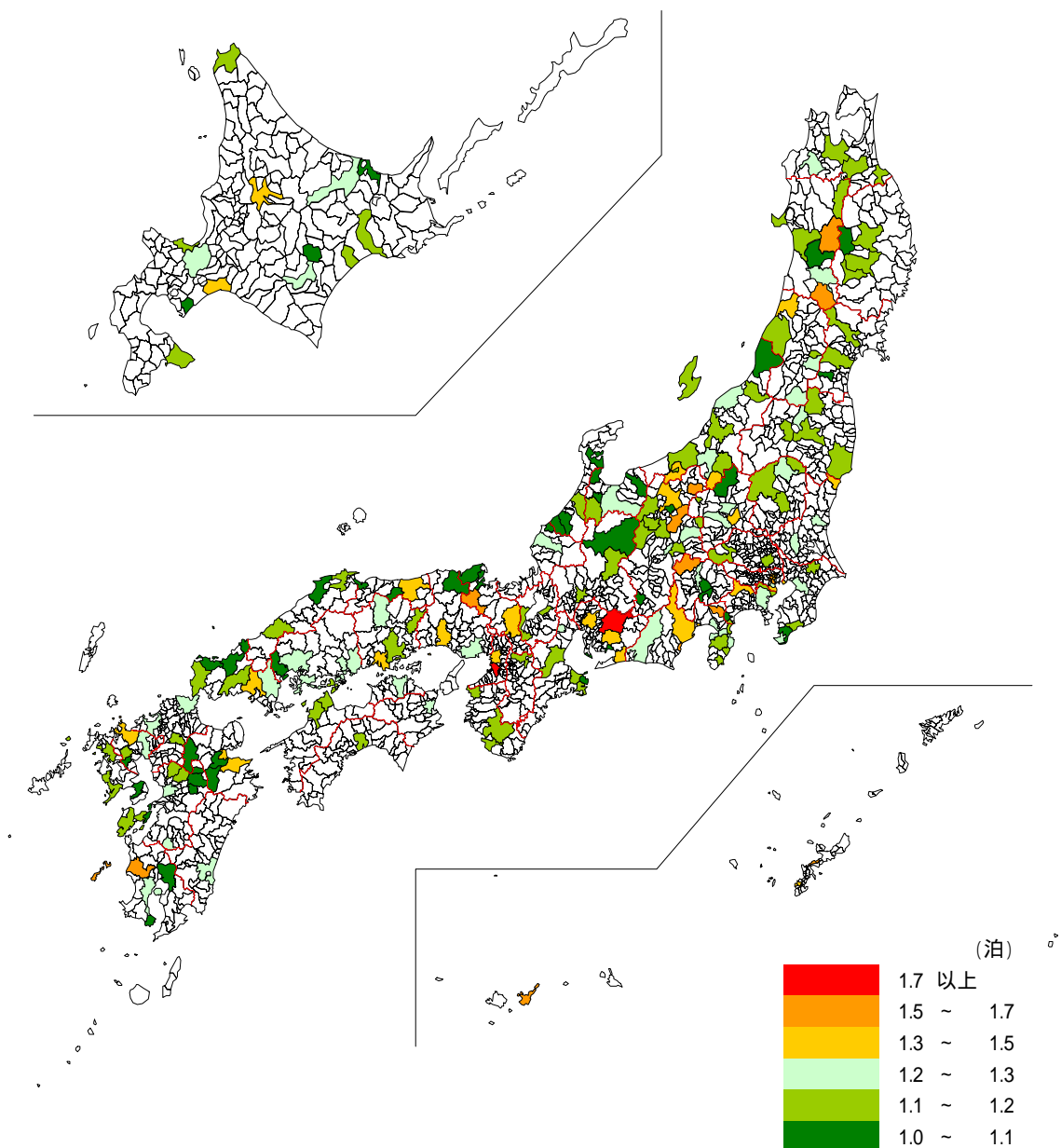


### (3) 市区町村別一人当たり平均宿泊数

平成20年調査から、主な市区町村(調査票回収施設数が10以上で、かつ標準誤差率30%以下)の延べ宿泊者数等を集計して公表

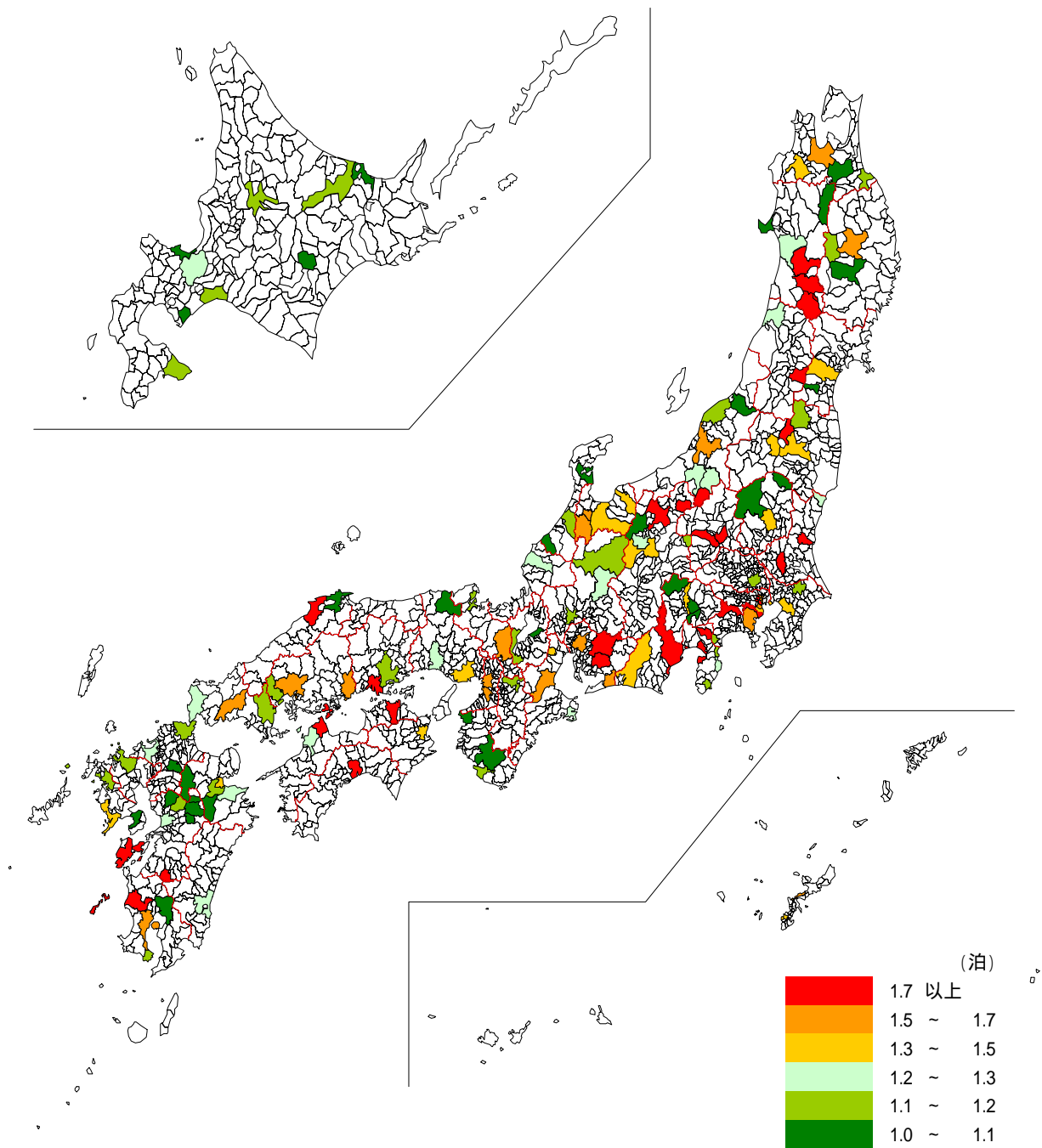
市区町村別の一人当たり平均宿泊数で見ると、大阪府堺市、愛知県豊田市が1.7泊以上

(一人当たりの平均宿泊数(市区町村別))



市区町村別の外国人一人当たり平均宿泊数で見ると、秋田県横手市、秋田県大仙市、高知県高知市、愛知県豊田市、秋田県湯沢市、鹿児島県薩摩川内市が3.0泊以上

〔外国人一人当たり平均宿泊数(主な市区町村別)〕



## 平成19年(1月～12月)の集計結果の確定値

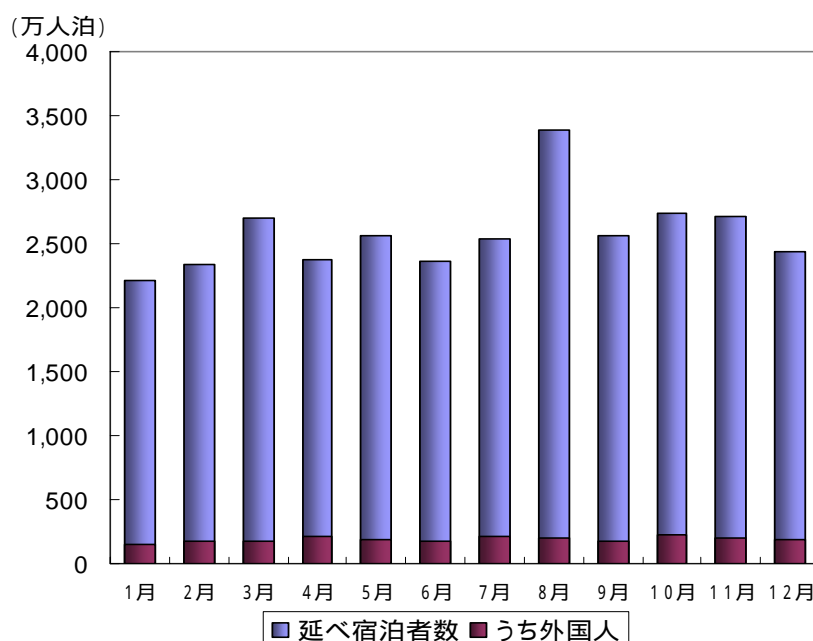
平成19年(1月～12月)集計結果について、新設・廃業施設のデータを反映させて再集計した確定値の概要

### 1. 延べ宿泊者数

延べ宿泊者数は3億938万人泊、うち外国人は2,265万人泊  
(宿泊者全体に占める割合は7.3%)

月別延べ宿泊者数(平成19年分)(確定値)

	延べ宿泊者数	うち外国人	
		人数	シェア
1月	2,214	145	6.6%
2月	2,335	175	7.5%
3月	2,700	178	6.6%
4月	2,373	211	8.9%
5月	2,564	183	7.2%
6月	2,366	176	7.4%
7月	2,536	206	8.1%
8月	3,394	199	5.9%
9月	2,565	176	6.9%
10月	2,743	226	8.2%
11月	2,709	205	7.6%
12月	2,440	185	7.6%
合計	30,938	2,265	7.3%



## . 宿泊旅行統計調査の詳細データについて

< 宿泊旅行統計調査 > の詳細データについては、下記ホームページに掲載しています。

国土交通省ホームページ  
<http://www.mlit.go.jp/>



トップページ

統計情報

分野別 統計・データ「観光」

宿泊旅行統計

(宿泊旅行統計ホームページ)